

～アレクサンドル・タローが描く『エリック・サティの世界』よせて～

薄井憲二バレエ・コレクション常設展

vol. 96

エリック・サティ 『本日休演』

会期／2023年8月2日(水)～10月15日(日)

(※休館日はwebでご確認ください)

企画・構成／関典子(薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)

2023年10月15日、兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホールにて開催される「アレクサンドル・タローが描く『エリック・サティの世界』」よせて展示をお届けします。

フランスを代表する作曲家の一人であり、「音楽界の異端児」としても知られるサティ。本展では、サティの最後の作品となったバレエ『本日休演』(1924)にまつわる資料をご覧ください。公演鑑賞のお供に、どうぞお楽しみください。

エリック・サティ (Erik Satie 1866.5.17～1925.7.1)

フランスの作曲家。旋律の平易さと、流行歌と舞踊形式を用いた機知のある実験によって、20世紀音楽に多大な影響を与えた一人。バレエ作品としては、レオニード・マシーン振付『パレード』(バレエ・リュス1917)、『メルキュール』(ソワレ・ド・パリ1924/バレエ・リュス1927)、ジャン・ボルラン振付『本日休演』(バレエ・スエドワ1924)などを作曲。

バレエ『本日休演 (Relâche)』

初演：1924年12月4日、シャンゼリゼ劇場 (フランス)

バレエ・スエドワ (スウェーデン・バレエ団)

振付：ジャン・ボルラン

音楽：エリック・サティ

台本・美術・衣装：フランシス・ピカビア

映画：ルネ・クレール『幕間』

出演：ジャン・ボルラン、イーディス・フォン・ボンズドルフ、他

「全2幕、映画による幕間、犬のしっぽ」で構成される「瞬間主義バレエ」。初演は当初、1924年11月29日に予定されていたが、振付・出演のボルランの体調不良により、本当に「休演」となってしまった。集まった観客は、これをダダイストの悪質なジョークだと考えてなかなか解散せず、騒動になったという。その翌週12月4日に上演された。

370枚もの反射鏡で覆いつくされた背景は照明によって明滅し、眼が眩むほどだったという。ジャーナリスト(および美術を担当したピカビア自身)は、観客にサングラスと耳栓を着用するよう警告したとか。滑稽なドンチャン騒ぎがコラーージュ的に展開する極めてダダ的な雰囲気の色作。

楽譜の挿絵(画：ピカビア)には、雲に座ったサティとバレエの登場人物(服を脱ぐ男)が描かれている。サティが持つ看板に書かれている言葉は、「すべてを説明するという習慣をやめるのはいつになるのかね？」(フランス語の「deshabiller 服を脱ぐ」と「deshabituér 習慣をやめる」とを掛けている)

映画『幕間 (Entr'acte)』

『本日休演』は、映画を導入した初のバレエ作品でもある(監督：クレール)。「プロローグ」では、最晩年のサティの姿を観ることができる。劇場の屋上で、サティとピカビアが飛び跳ねながら登場し、大砲に弾を込めて画面(すなわち観客)に向かって発射する。バレエの第1幕と第2幕の間に上映された「幕間」では、マン・レイとマルセル・デュシャンがチェスをしたり、ボルランの模擬葬式が執り行われる。

物語はバレエと同様に荒唐無稽、ダダ・シュルレアリスム的で、スローモーション、逆再生、コマ撮り、天地の逆転、オーバーラップなどの映像技術が多用された先駆的な作品。

サティは映像のカットに合わせられるよう、単純なリズムのごく短いフレーズの繰り返しによる音楽を作曲した。この繰り返しは、音楽それ自体の意味を喪失させ、背景音楽として映像の効果を高める役割を果たしている。

出展資料

- ◆ SC-80 楽譜／『本日休演』／フランス／1924年
- ◆ MG-442 雑誌／『ラ・ダンス』／フランス／1924年11-12月
- ◆ EX-40 展覧会カタログ／『バレエ・スエドワ (1920-1925) 50周年記念ストックホルム・ダンス博物館コレクション展』／パリ近代美術館、ベルギー国立劇場ロジェセンター／1970-1971年



参考映像

- ◆ 映画『幕間』(1924)
René Clair, 1924 Entr'Acte
<https://vimeo.com/488844088>
- ◆ バレエ・ロレーヌ『本日休演』
復元上演(2014)短編(映画あり)
<https://youtu.be/ZPMIWhwoGJM>
- ◆ バレエ・ロレーヌ『本日休演』
復元上演(2014)全編(映画なし)
<https://youtu.be/q1jigihfj0>

(* 復元振付 : Petter Jacobsson & Thomas Caley)



兵庫県立芸術文化センター

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22

tel: 0798-68-0223 fax: 0798-68-0212

※ 禁無断転載・複製・引用